



2023年3月期 決算補足説明資料

－目次－

1. 会社概要P1-3
2. 決算概要P4
3. 連結損益の状況P5-6
4. 連結貸借対照表の状況P7
5. キャッシュフローの状況P8
6. ROE等の経営指標の状況P9
7. 2024年3月期の業績予想・配当予想P10

1. 会社概要



社名	株式会社ウッドワン
所在地	広島県廿日市市木材港南1-1
設立	1952年4月
資本金	73億2,497万円
従業員数	2,338名（連結）
<small>※2023年3月31日現在</small>	1,240名（単体）
営業拠点	東京・名古屋・大阪・福岡など全国45拠点
製造拠点	本社（廿日市）・豊橋・蒲郡

**無垢No1
木質総合建材メーカー**



(海外拠点)



フィリピン 工場



インドネシア 工場



一貫生産体制

原材料の
確保

一次加工
二次加工

最終製品
製造

販売

ニューゼalandで約40,000haの森林を経営
(苗木を植えることから)

端材でバイオマス発電も

(持続可能な森林経営)

ニュージーランドの“ウッドワンの森”。

日本から東南へ約9,000km 離れた「ニュージーランド」にウッドワンが大切に育てている広大な森林があります。

その規模は約40,000ha にもおよび、「木のぬくもり」を製品としてご提供しつつ、地球環境を守る経営を行っています。



30年で次の世代へ。

ウッドワンで植林しているニュージーパイン®は、約30年で樹高40mほどに成長して伐採適齢期を迎えます。

そこでウッドワンでは、1年生から30年生までに分けた区画ごとに育て、毎年一定量の木材が収穫できるように森林を管理・保全しています。



GHG排出量	単位	2021年度 連結
CO2吸収量・固定化量		
CO2吸収量 ※1	t-CO2	700,000
CO2固定化量 ※2	t-CO2	145,000
排出量		
Scope 1(連結)	t-CO2	5,129
Scope 2(連結)	t-CO2	21,650
合計(Scope1+Scope2)	t-CO2	26,779

2023年1月20日に新たに発行したサステナビリティレポートから抜粋

※1 CO₂吸収量 = 植林面積 × 年間平均生長量 × (1 - 生材含水率) × 炭素含有率 × CO₂換算係数
 ※2 CO₂固定化量 = 植林面積 × 年間平均生長量 × ラジアータパイン材密度 × 炭素含有率 × CO₂換算係数

2. 決算概要



前期比 $\Delta 1.1\%$



同 $\Delta 67.4\%$



同 $\Delta 68.9\%$



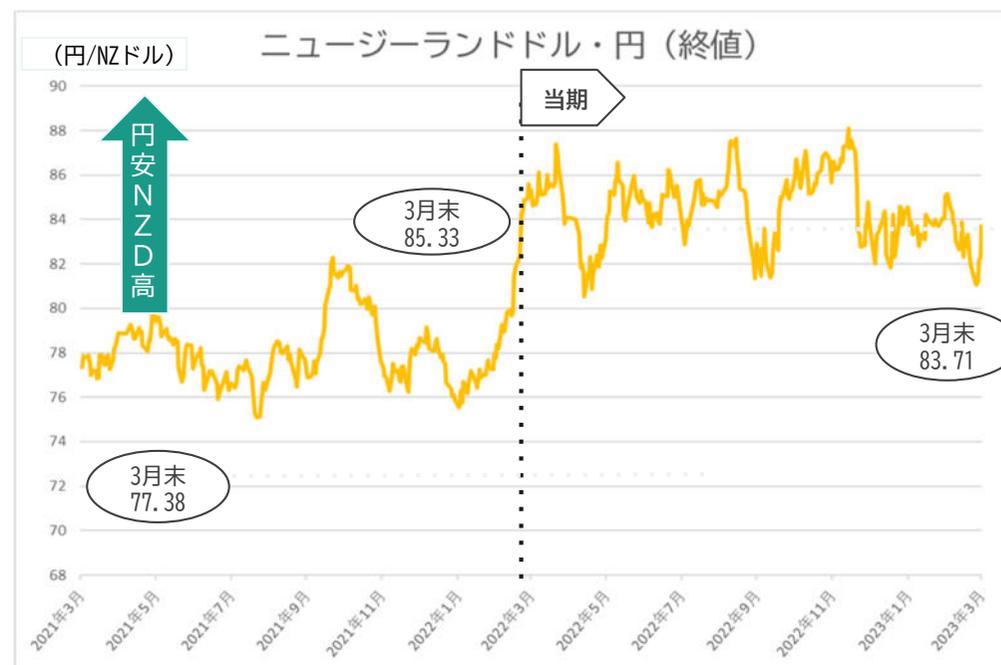
同 $\Delta 72.1\%$

(当期の経営環境)

【新設住宅着工戸数 (持家+分譲戸建) 推移】

(数量単位:千戸)

	持家+分譲戸建			持家		分譲戸建	
	戸数	前年比	増減率	戸数	前年比	戸数	前年比
2022年1~3月	93	98.7%	$\Delta 1.3\%$	58	93.1%	35	109.5%
2022年4~6月	103	95.0%	$\Delta 5.0\%$	66	91.1%	37	102.8%
2022年7~9月	104	92.6%	$\Delta 7.4\%$	67	87.2%	37	104.4%
2022年10~12月	100	88.9%	$\Delta 11.1\%$	63	84.3%	37	98.1%
2022年1~12月計	399	93.6%	$\Delta 6.4\%$	253	88.7%	146	103.5%
2023年1~3月	86	92.6%	$\Delta 7.4\%$	52	91.1%	33	95.2%

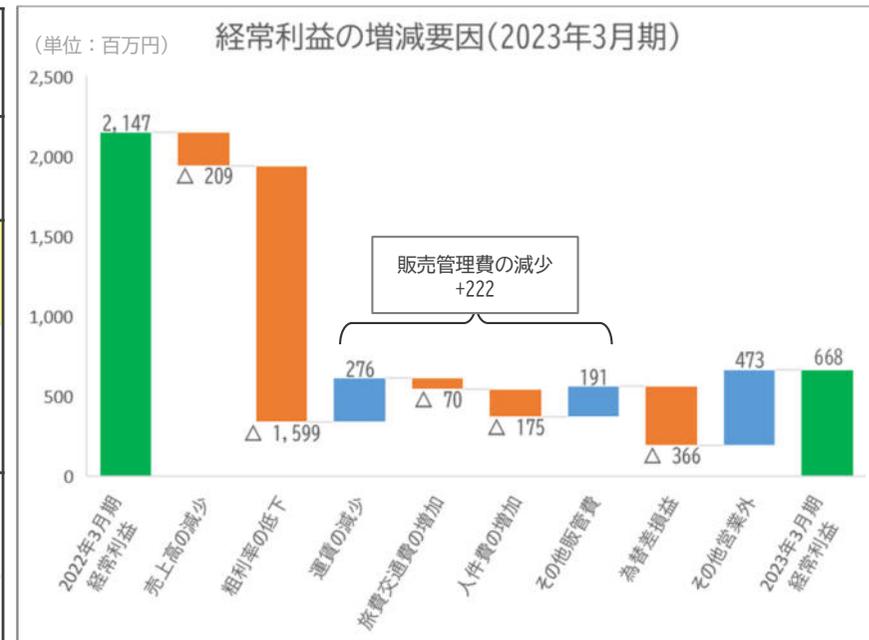


3. 連結損益の状況

- 付加価値の高い商品の販売や価格改定の効果はあったものの、住宅着工数の減少もあり売上高は前期比減少。
- 原材料や副資材等の材料費、電力費や燃料費、物流運賃等、さまざまなコストの上昇や高止まりから営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比減少。

(単位：百万円)

	2022年 3月期	2023年 3月期	前期比 増減
売上高	66,582	65,829	△753
売上総利益	19,270	17,462	△1,807
売上総利益率 (粗利率)	28.9%	26.5%	△2.4%
販売管理費	16,918	16,696	△222
販管費比率	25.4%	25.4%	△0.0%
営業利益	2,351	766	△1,584
経常利益	2,147	668	△1,478
親会社株主に帰属する当 期純利益	1,308	365	△942



2023年3月期の臨時的な損益 (利益は+、損失は△)

【労務費（売上原価）及び人件費（販売管理費）】
賞与支給対象期間の変更に伴う移行措置 △246

【営業外収益】
排出権収入 +452

【特別利益】
投資有価証券売却益 +253

【特別損失】
中国子会社の清算損 △67
NZサイクロン災害による損失 △143

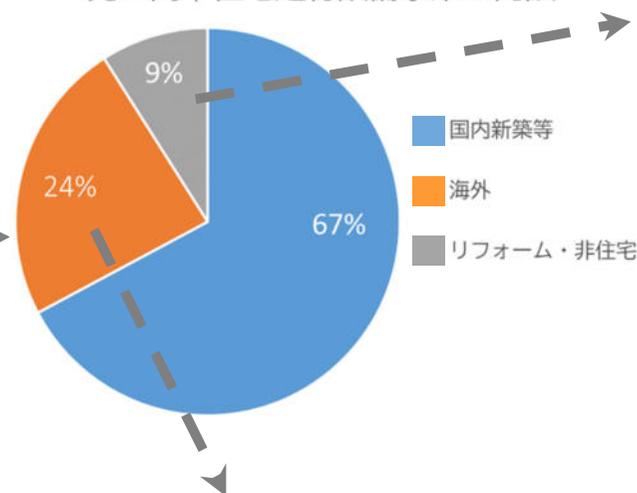
(セグメント情報)

- 住宅建材設備事業における、海外売上（ニュージーランド・インドネシア子会社計）は増加したものの、リフォーム・非住宅の売上は前年比減少。利益面でもコストアップとの差が詰まってきた状況。
- バイオマス発電事業は、「間伐材」の不足や価格高騰などから燃料代が大きく高騰するとともに、燃料構成の変化から売電価格が低下、太陽光発電の急増に伴う電力需給バランスを調整するため、電気事業者から「出力制御」が行われたこともあり、売上、営業利益ともに減少。

(単位：百万円)

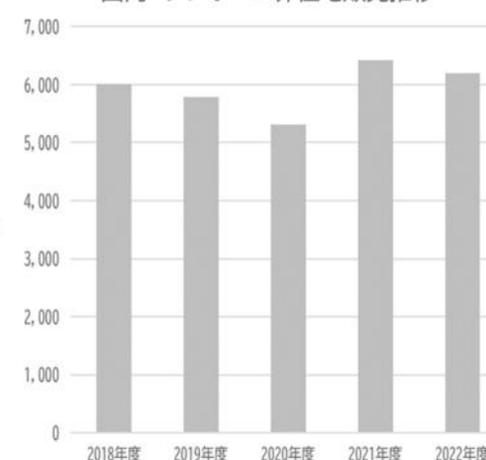
	2022年 3月期	2023年 3月期	前期比 増減
売上高	66,626	65,872	△753
住宅建材設備事業	65,478	64,777	△701
発電事業	1,147	1,095	△52
営業利益	2,351	766	△1,584
住宅建材設備事業	2,154	683	△1,470
発電事業	196	82	△114

<売上高 | 住宅建材設備事業の内訳>



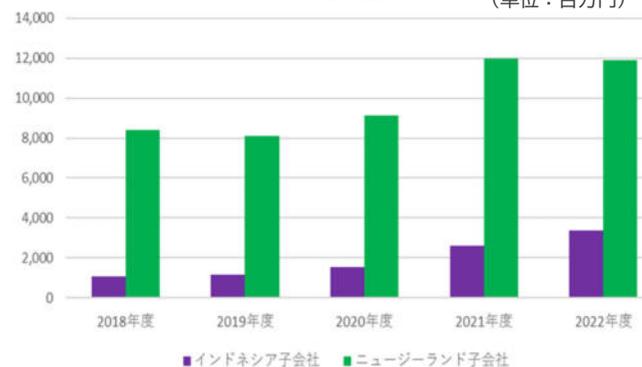
(単位：百万円)

国内 リフォーム非住宅販売推移



海外売上推移

(単位：百万円)



<発電事業 FIT買取価格> ※

木質チップ種類	単価/1kw
未利用材	32円
一般木材	24円
建築廃材	13円

※規模や調達方法毎に異なる

4. 連結貸借対照表の状況

- 商品の安定供給に向けた原材料の調達や、仕入単価高騰により棚卸資産が増加。
- 増加運転資金の調達により有利子負債が増加。

(単位：百万円)

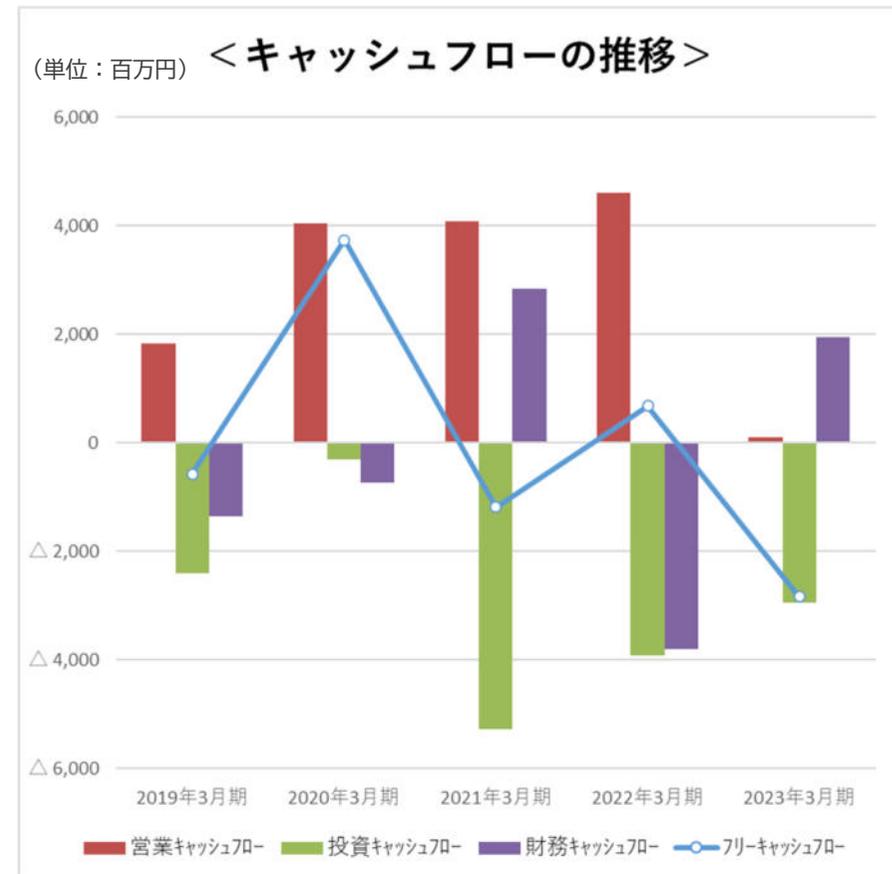
	2022年 3月期	2023年 3月期	増 減	主な増減要因	
				為替影響除き	
流動資産	27,584	29,814	+2,230	+1,783	←商品の安定供給に向けた原材料の調達および仕入単価の高騰
・現預金	5,479	4,548	△930	△1,052	
・棚卸資産	12,856	16,666	+3,809	+3,757	
・受取勘定他	9,249	8,600	△649	△920	
固定資産	67,478	67,203	△274	△350	
・有形固定資産（立木除く）	35,674	35,683	+8	△419	
・立木	19,551	19,732	+180	+562	
・無形固定資産	853	818	△34	△34	
・投資その他の資産	11,398	10,968	△429	△459	
資産合計	95,062	97,018	+1,955	+1,433	
流動負債	22,312	20,818	△1,494	△1,949	←増加運転資金の調達
・有利子負債	10,465	9,702	△762	△1,005	
・支払勘定他	11,847	11,115	△731	△943	
固定負債	28,560	31,795	+3,234	+3,220	
・有利子負債	23,174	26,902	+3,727	+3,660	
・その他	5,386	4,893	△492	△439	
(*有利子負債合計)	(33,639)	(36,604)	(+2,964)	(+2,654)	
負債合計	50,873	52,613	+1,740	+1,271	
・株主資本合計	36,281	36,396	+114	+153	
・その他包括利益累計額合計	6,722	6,835	+113	+20	
・新株予約権	144	122	△22	△22	
・非支配株主持分	1,039	1,049	+9	+9	
純資産合計	44,188	44,404	+215	+161	
負債純資産合計	95,062	97,018	+1,955	+1,433	

5. キャッシュフローの状況

- 営業CF：商品の安定供給に向けた原材料調達や仕入単価高騰、税引前当期純利益の減少などで減少。
- 投資CF：ニュージーランド子会社での山林投資などで例年程度のマイナス。
- 財務CF：当社およびニュージーランド子会社等における増加運転資金調達。

(単位：百万円)

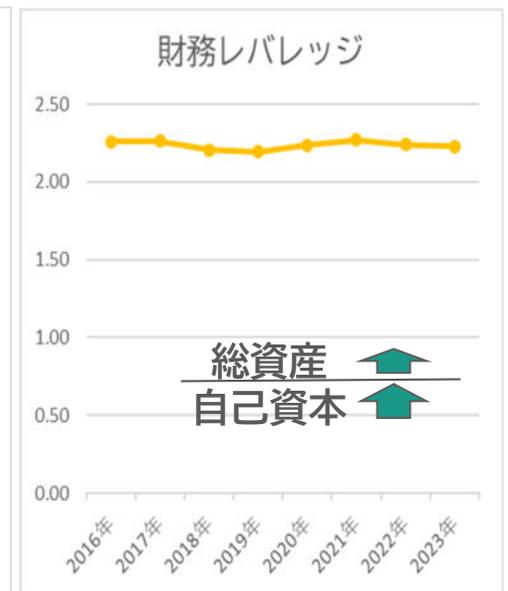
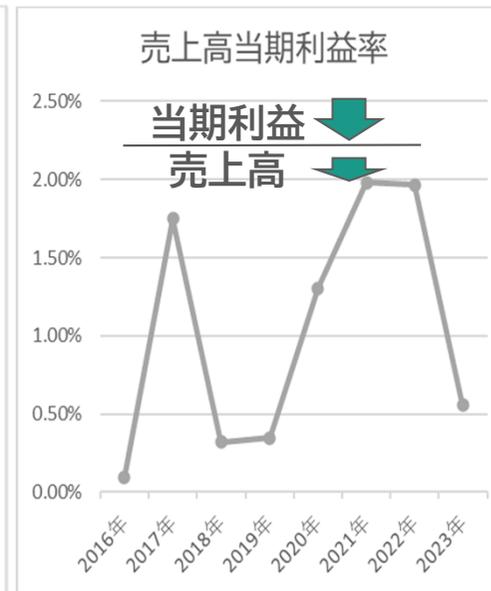
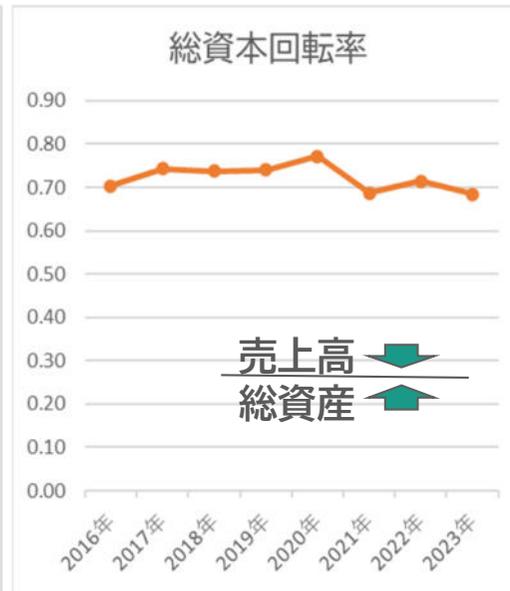
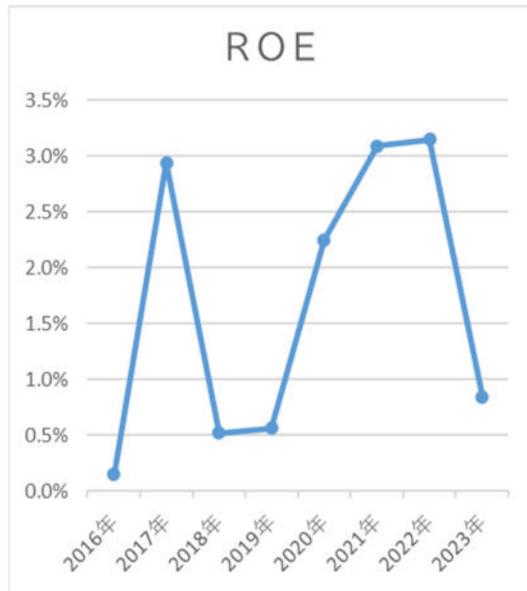
		2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期
	営業CF	1,834	4,044	4,088	4,599	109
	投資CF	△2,409	△303	△5,270	△3,925	△2,944
フリーCF		△575	3,741	△1,182	674	△2,835
財務CF		△1,359	△740	2,835	△3,804	1,943



トピックス 2019年3月期：住建（上海）有限公司の持分譲渡（入金は2019年4月）
 2021年3月期：インドネシア子会社の新規設備投資
 2022年3月期：新型コロナ対策資金+インドネシア子会社の有利子負債の一部を返済

6. ROE等の経営指標の状況

- 2023年3月期のROEは0.8%と前期比減少（前期比 $\Delta 2.3\%$ ）。



7. 2024年3月期の業績予想・配当予想

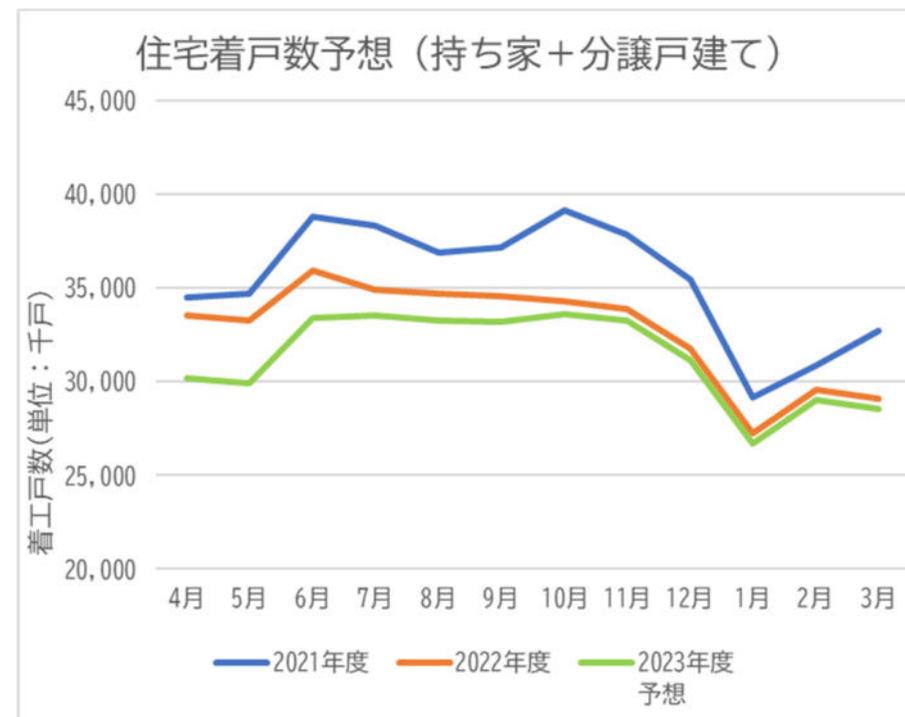
- 住宅着工数は、足元程度の景況感を前提に、季節性は織り込みつつも秋需による大幅な増加は見込まず。
- 売上高は、着工戸数予想(前年比96%程度)に加え、カタログ価格改定による販売価格上昇効果を織り込む。
- 利益項目については、現状水準の円NZD為替相場が継続するとの予想に加え、既に判明している今後のコストアップ分は含めたうえで売上原価は「高止まり」、販管費は前年実績程度として策定。
- 年間配当金は、2023年3月期と同額の24 円を予想。

(単位：百万円)

[業績予想:連結]	2023年 3月期 実績	2024年 3月期 予想	前期比
売上高	65,829	68,000	2,171
営業利益	766	1,900	1,134
経常利益	668	1,200	532
親会社株主に帰属 する当期純利益	365	800	435

(単位：円)

[配当予想]	2023年 3月期	2024年 3月期 予想
中間	12.00	12.00
期末	12.00	12.00
年間	24.00	24.00
配当性向	61.3%	27.9%



予想数値は現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後変動する可能性があります。
開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響をお知らせします。